


行政視察報告書 14番石井 隼男

1. 日時 令和4年12月19日 PM 14時30分～
2. 場所 五所川原市 「議会広場」
3. 研修内容 新庁舎建設について
4. 担当者



五所川原立倭武多「暫」


 五所川原市議会事務局

事務局長

長谷川 哲

〒037-8686 青森県五所川原市字布屋町41番地1
 電話:0173-35-2111(内線2820)
 FAX:0173-35-2113
 E-Mail:satoshi-hasegawa@city.goshogawara.lg.jp
 gikai@city.goshogawara.lg.jp
<https://www.city.goshogawara.lg.jp/gikai>




 五所川原市 総務部
管財課

課長

外崎 経明

〒037-8686
 青森県五所川原市字布屋町41番地1
 TEL (0173) 35-2111(代) 内線 2170
 FAX (0173) 35-3617
 E-mail:tsuneaki-tonosaki@city.goshogawara.lg.jp



 五所川原市
総務部 管財課

主幹・管財係長

太田 裕介

〒037-8686
 青森県五所川原市字布屋町41番地1
 TEL (0173) 35-2111(代) 内線 2172
 FAX (0173) 35-3617
 E-mail:yuusuke-oota@city.goshogawara.lg.jp

○ 構造に対する考え方

全体計画

高い靱性と強度を持つ鉄骨鉄筋コンクリート造の耐震構造とし、
 更に地域性も考慮し、積雪量160cmに対応可能な計画とする。

平面計画

建物外周に備平柱中間柱を設けて耐震性を確保。
 床材には地震時の天井脱落リスク回避のため
 PC版を採用。又空間の執務室には天井材を貼る等
 計画している。更にケリ豪雨・浸水対策として、電気室・
 機械室を3階層上に配置している。

立面計画

庁舎へのアクセスと守り角側と西側には5.5mの庇状の
 跳ね出しを設けている。

基礎計画

基礎構造は支持層がGL-5.3m程度と深く、かつ
 液状化の可能性があり地盤の特性も考慮して、
 外殻鋼管付遠心力コンクリート杭を採用している。

設備に対する考え方

省エネ等設備

太陽光発電20KW、LED照明(全館)

地中熱ヒートポンプ(庁舎内の冷暖房空調設備)環境省の

地中熱融雪設備(ポンプ動力のみで駐車場通路の補助金
 無散水融雪)

防災自立設備

非常用発電機 500kVA. 連続72時間 (約3日間)

蓄電池 22kWh.

雨水貯留槽 300t. (約570人×3週間分×1人1日^洗浄水)

緊急時給水設備 2ヶ所

① 建設費用と財源 (旧庁舎の解体費用を含む)

敷地面積 8,911.55m²

建築面積 庁舎 3,355.37m², 附属施設 135.95m²

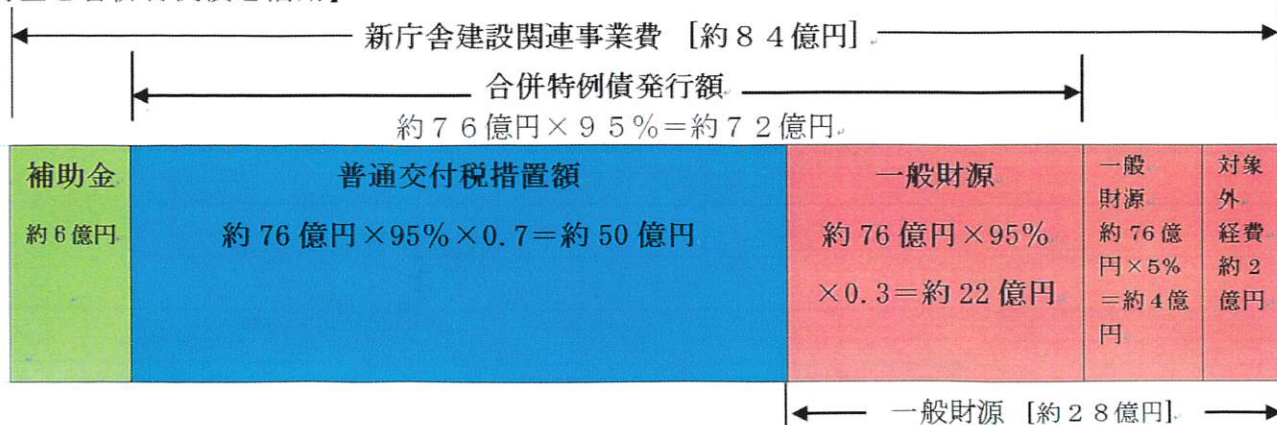
延床面積 9,344.50m² 附属施設 135.95m²

駐車台数 未庁舎用98台 (うち障害者用4台)

■財源

建設費用の財源は、平成25年度の建設用地一部取得から平成31年度の旧庁舎解体までの新庁舎整備事業の全体事業費の概算は、環境省の補助金が約6億円、一般単独事業債と比較して有利な合併特例債の発行額が約72億円、一般財源が約6億円となる予定です。

【補助金と合併特例債を活用】



視察後の感想

- 多くの市民が利用する窓口を1階に集約したことで利便性の向上が図られた。又窓口カウンターにはA・B・Cと椅子を設置し、安心感が醸し出されている。
- 広々とした空間が広がり職員への追感が感じられない。
- 焚券システムを導入した利便性を呼び付けてよい。混雑緩和が図られた。
- 地元産材のヒバ材も活用し親しみと愛着を醸成されている。

美穂市も近い将来庁舎の建て替え問題が生じますが、美穂市は合併をしていないので合併特例債は活用できません。財政状況も豊かでありません。少な予算で使い易い美穂市に相応しい、住民満足度が高い庁舎建設が求められます。その為皆で知恵を絞り、創意工夫を凝らし、取り組む必要性を強く感じました。

1. 日時 令和4年12月20日 AM10時～
2. 場所 議事堂 第4本目会室
3. 研修内容 統廃合に則廃校に転用学校への対応
について
4. 出席者

大館市議会事務局

事務局長 工 藤 仁
 KUDO HITOSHI
 〒017-8555
 秋田県大館市字中城20番地
 TEL 0186-42-0506
 FAX 0186-49-0573
 E-mail hitoshi-kudo@city.odate.lg.jp



大館市 総務部
 管財課
 課長 田中達哉

〒017-8555 秋田県大館市字中城二〇番地
 TEL (0186) 43-7108 (課直通)
 E-mail tatsuya-tanaka@city.odate.lg.jp

2023ハチ公生誕100年



秋田犬の里
 ～忠犬ハチ公のふるさと～
 大館市議会事務局議事調査係

主査 石田 徹
 Section chief Ishida Toru

〒017-8555 秋田県大館市字中城20番地
 TEL 0186-43-7108 FAX 0186-49-0573
 Email giji@city.odate.lg.jp

はちくん
 大館市観光キャラクター

○ 合併後の人口減少
 平成17年6月20日 旧比内町、旧用代町の2町を編入合併
 H17年6月20日 84,701人
 H25年1月1日 (条例施行時点) 78,856人 (△5,845人)
 R4年11月30日 68,217人 (△16,486人)

人口減少が加速化して～
 ○ 合併による管理施設数の増化

大館市空き公共施設等利活用促進条例について

< 新紙参照 資料 6.1 >

(2) 条例・規則の概要

	現行制度 (普通財産)	条例適用後
指定条件	無し	正社員 1 名以上の新規雇用・地域への貢献など
貸付額 (年額)	評価額×土地 4% (建物 8%)	規定の 9 割減まで可能
譲渡	競争入札	随意契約・規定の 9 割減まで可能
議決	安価に貸付及び譲渡する場合議決必要	条例適用により議決不要
増改修助成金	無し	費用の 1/3 (500 万円限度)
事業開始時支援金	無し	新規雇用正社員 1 名につき 10 万円 (50 万円限度)
固定資産税課税免除	無し	課税開始年度から 3 年間

※ 工場等設置促進条例及び畜産農業施設等設置促進条例による優遇措置を受けている場合は除外
(該当要件: 投資額 1,900 万円、雇用 5 人以上)。

条例適用までの流れ

施設の利用廃止 (所管課担当)

① 地域との協議

地域での施設利用の有無の確認 (特に体育館、グラウンド)
公募手続きへの地域同意の取り付け

② 施設の見検

土地の境界確認 (公図、測量図、境界航、立ち合等)

土地、建物、評価額算定 → 税務課に依頼

建物、点検 → 建物調査報告書作成を都市計画課に依頼
危険な場合は解体を検討

③ 目的外使用(財産処分)の許可手続きの確認。
国等の許可及び補助金の返還等の有無を確認。

④ 所管課迄

用途廃止に伴う条例等の整備(施設の廃止条例)

施設への公募(管財課担当)

① 運用審査会議の開催(市長からの諮問)
公募内容の検討

② 公募の実施

公告、ホームページ等掲載、現地説明会

条例適用指定申請書(様式第1号)の受付

③ 審査委員会へ開催(市長からの諮問)

申請書類の審査 → 指定可否(減額率も念及)

④ 指定事業者へ指定(審査委員会からの答申)

条例適用指定書(様式第2号)の交付

⑤ 事業者からの減額譲渡等申請書(様式第3号)の受理

減額譲渡等可否決定通知書(様式第4号)の発送

⑥ 目的外使用(財産処分)の許可手続き(補助事業の場合)

元々所管課の国等への承認申請を依頼し、承認通知書

受領後の契約締結

⑦ 契約の締結

賃貸契約(6ヶ月契約、3年更新)又は売買契約締結

(賃貸V持約10年間)

⑧ 事業者から補助金等の交付申請書(様式第5号、7号)の受理(事業開始後)・内容確認

⑨ 運用審査会議の開催(市長から諮問)補助金等(奨励措置)交付の可否を審査

⑩ 交付決定
補助金の予算措置(補正予算)
議決後の交付可否決定書(様式第6号、8号)の交付

現状と課題

1) 目的外使用(財産処分)の承認手続き

① 財産処分の承認申請
審査の承認まで期間が約3ヶ月(文科省)

② 補助金の返還等
補助金交付省庁から取り扱いは違った
別紙資料10-2参照

(2) 事業の継続性の判断

美祿市に於いても、人口減少、少子化社会の本格化到来に伴い、公共施設(学校等)の統廃合問題が大きな課題と存しておられます。現在、閉校後、利活用が進んでいる等の事例が数件あります。今後、令和10年度迄に6校の統廃合が予定されています。統廃合と大いに関与し、利活用を図る上で、美祿市も、空き公共施設等利活用促進条例を制定し、統廃合問題の取組の必要性、重要性を強く感じました。

又、同時に地域の活性化を図る事が求められます。

最近の県内自治体の利活用事例の紹介 No.6. No.7.

関東・山梨3都県の廃校活用率

1位	山梨県	84%
3	栃木県	81
5	神奈川県	79
8	群馬県	75
11	埼玉県	72
22	茨城県	65
28	東京都	63
40	千葉県	59

(注)2002～20年度に発生した廃校で活用されている施設。文科省の統計値を基に自治体にヒアリングした。順位は全国のランキング。

廃校活用

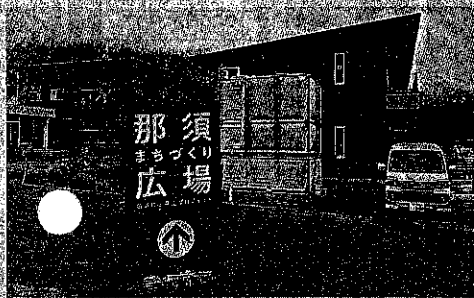
高齢者住宅を整備

栃木・那須町

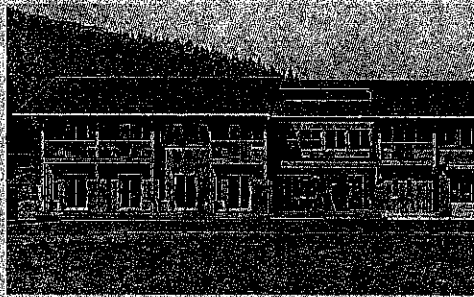
関東・山梨の8都県で廃校の活用が進む。市町村合併と少子化を背景に、廃校が増えたものの、東京都心に近い立地と自然環境を生かし、観光施設や高齢者住宅を整備したり、オフィスに転用したりして雇用を生み出す事例もある。子供たちの学びの場が、観光客や高齢者らが集る新たな「コミュニティ」に生まれ変わっている。

自然豊かな栃木県北部の那須町で、廃校を活用した「コミュニティ」づくりが着々と進む。高齢者住宅の整備・運営などをする会社「那須まちづくり」が2016年に廃校

群馬・高崎市 小中学生の山村留学施設



校庭に建設していた高齢者住宅がほぼ完成し、1月下旬から入居が始まる。(栃木県那須町)



廃校になった小学校を活用して2018年に開業した山村留学施設「くらぶち英語村」。(群馬県高崎市)＝高崎市提供

データで読む 地域再生

と変わった旧朝日小学校を、町から借り、子供や高齢者、障害者の若者男女が、身に着けるための施設を整備した。

校庭に建設した40戸の高齢者向け住宅「ひまわりの家」が、地元の利用者の多「那須まちづくり」が2016年に廃校

た小学校跡に本道が隣接する山村留学施設「くらぶち英語村」を開いた。県内外の小中学生が1年間、保護者のもとを離れて英語を母国語とするなど、異文化体験を通じて「一生きた英語」を学ぶ。

映画の上映やコンサートを開催するホールや食事を提供するカフェ、野菜などを販売するマルシェなどは校舎を改修して整備した。ひまわりの家「那須」は約40戸が契約済みで、1月下旬から入居が始まる。

那須町はほかにも廃校を子育て福祉施設、アトピーやアレルギーなどの子童や福祉施設などに転用している。「新たな雇用を生み出す」とも、地元の利用者も利用で「那須まちづくり」が2016年に廃校

る制度を設けている。廃校を活用する企業・団体との協定では、地元住民との関係構築や事業の安定性を評価項目とする。認定保育室を運営する「くらぶち英語村」は、2018年に開業した。山村留学施設「くらぶち英語村」は、2018年に開業した。山村留学施設「くらぶち英語村」は、2018年に開業した。

が、山村留学施設「くらぶち英語村」は、2018年に開業した。山村留学施設「くらぶち英語村」は、2018年に開業した。山村留学施設「くらぶち英語村」は、2018年に開業した。

が、山村留学施設「くらぶち英語村」は、2018年に開業した。山村留学施設「くらぶち英語村」は、2018年に開業した。山村留学施設「くらぶち英語村」は、2018年に開業した。

が、山村留学施設「くらぶち英語村」は、2018年に開業した。山村留学施設「くらぶち英語村」は、2018年に開業した。山村留学施設「くらぶち英語村」は、2018年に開業した。



地域の多世代集う施設へ

【日光】2020年3月に閉校した野口小の跡地で、体験型学童保育併設スポーツコミュニティ「デイー」施設「スマイルクラブ野口」のオープンに向けた準備が進んでいる。学童保育を中心に、トレーニングジムやカフェなどを設け、地域の多世代が利用できる、学校に代わる地域コミュニティとなる施設を目指す。少子化を背景に、市内では23、24年度の2年間で小中学校4校の閉校が決まり、跡地の利活用が課題となっている。

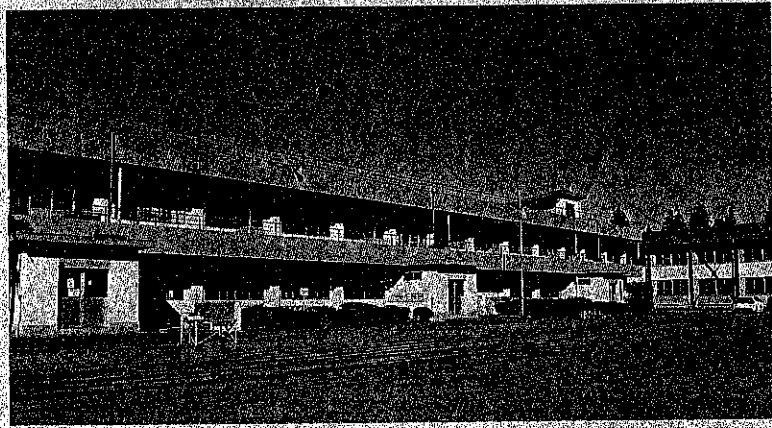
(池鯉鮒夢乃)

日光・野口小跡地

同跡地は、市内を中心の別施設を使って、運動やサッカークラブなどをや勉強、物作り体験など運営する東和町のSMYもできる「体験型」の学童保育施設が市から、童保育を1週間ずつプレ無償で32年まで借り受けオープンし、小学生を中心する。20年度に、使われていない約20人が利用。保護者、児童とも好評だったという。

新施設では、学童保育に必要し、採用された。外装はそのまま、内装を改修し、3月中旬にプレオープンも長い年後の時までと、4月3日の本格オープンし、狐塚宗宏社長(35)は「保護者の職業選択の幅を広げる手助けをした」と話している。

体験型学童保育併設 3月プレオープン



新しい施設になる野口小跡地

な住みやすいまちにし市の人口流出などの問題を解決したい思いもあるという。

い」と話す。野口小が統合した日光小だけでは、市内約10の小中学校を施設利用の対象にする予定。子育て面に加え、学校の跡地を地域の人が集まる場所として活用するのは野口小跡地のみ。今後2年でさらに4校が閉校するなど、増え続ける学校跡地の利活用は市全体の課題となっている。

市教委の斎藤孝雄教育長は「学校という施設は使われ方の違いから、他の施設と違う特色がある。学校でなくなっても地域の拠点的に使ってもらえるのはうれしい」と話した。